

- 問1 新井白石が行った政治改革の内容として、当時の社会背景や目的に合致する正しい説明はどれですか。 (2019年 愛媛県公立入試 類似)
1. 生類憐みの令を出して、極端な動物愛護による社会道德の確立を目指した。
 2. 長崎貿易での金や銀の流出を防ぐため、海舶互市新例を出して貿易額を制限した。
 3. 印旛沼の干拓や下総の開墾を行い、年貢収入を増やすことで幕府財政の再建を図った。
 4. 昌平坂学問所を設立して、武士に朱子学以外の学問を禁じる「寛政異学の禁」を導入した。
- 問2 江戸時代の年貢徴収において、幕府や藩が農民一人ひとりから直接徴収するのではなく、村全体に対して年貢の総量を割り当て、村の責任で全額を納めさせた仕組みを何というか。 (2022年 京都府公立入試 類似)
1. 村請 (村請制)
 2. 石高制
 3. 検地
 4. 五人組
- 問3 江戸時代、全国の物流が集まり「天下の台所」と呼ばれた大阪の川沿いには、多くの船が行き交い、大規模な建物が立ち並んでいました。これらの建物は、諸藩が領地から運んできた年貢米や特産物を貯蔵・販売するために設置したものでしたが、この施設を何といいますか。 (2026年 秋田県公立入試 類似)
1. 問屋
 2. 株仲間
 3. 札差
 4. 蔵屋敷
- 問4 江戸幕府はヨーロッパ諸国との貿易を制限していく中で、最終的にオランダのみに貿易継続を認め、長崎の出島での取引を許可しました。幕府がスペインやポルトガルを排除する一方で、オランダを受け入れた理由を説明したものとして適切なものはどれですか。 (2022年 茨城県公立入試 類似)
1. オランダだけが日本の鎖国令に従い、海外の情報を一切日本に持ち込まないことを約束したから
 2. オランダは島原・天草一揆の際、幕府軍に対して最新式の武器や軍艦を無償で提供し、忠誠を証明したから
 3. オランダは当時ヨーロッパで唯一のキリスト教禁止国であり、日本の宗教政策と完全に一致していたから
 4. オランダはプロテスタントの国であり、キリスト教の布教よりも貿易の利益を優先する姿勢を幕府に示したから
- 問5 江戸時代初期、九州の島原や天草地方で、領主による過酷な年貢の取り立てや、強まるキリスト教への弾圧に反対して起きた大規模な反乱を何といいますか。 (2023年 長崎県公立入試 類似)
1. 大塩平八郎の乱
 2. 山城の国一揆
 3. 島原・天草一揆
 4. 加賀の一向一揆
- 問6 江戸時代、町人の生活や流行、歌舞伎役者や美人などを題材にして描かれた新しい絵画のジャンルが確立されました。菱川師宣が手がけた、振り返る女性の姿を描いた「見返り美人図」などの作品に代表されるこの芸術ジャンルを何といいますか。 (2017年 徳島県公立入試 類似)
1. 南画
 2. 浮世絵
 3. 水墨画
 4. 大和絵
- 問7 近世の政治体制を説明した記述として、最も適切なものはどれですか。この時代には、将軍の直轄地と、各地の大名が治める領地が組み合わさった独自の支配の仕組みが成立しました。 (2015年 長野県公立入試 類似)
1. 将軍と武士が土地を仲立ちとして結びつき、各地に守護や地頭が置かれた。
 2. 天皇を中心とした公家が政治の主導権を握り、律令に基づいて全国を統治した。
 3. 幕府が全国を統轄し、各地の藩がそれぞれの領地と民衆を支配する幕藩体制が確立した。
 4. 明治維新によって江戸幕府が倒れ、中央集権的な近代国家の建設が進められた。
- 問8 伊能忠敬が作成した日本地図が、それ以前の地図と比較して飛躍的に正確であった理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 徳島県公立入試 類似)
1. 全国の沿岸を実際に歩き、歩数や測量器具を用いて距離と方位を測定する実地調査を徹底したから
 2. オランダから輸入された精緻な世界地図を模写し、そこに日本独自の地名を書き込んだから
 3. 古くから伝わる各地の絵図や古文書を幕府が収集し、それらを最新の印刷技術でつなぎ合わせたから
 4. 幕府の強い権力を用いて各地の大名から提出させた、最新の領地目録の情報を統計的に処理したから
- 問9 江戸幕府が全国の諸大名を統制するために制定し、城の無断修理や幕府の許可を得ない婚姻などを厳しく制限した法令の名称を答えなさい。 (2021年 奈良県公立入試 類似)
1. 十七条の憲法
 2. 武家諸法度
 3. 御成敗式目
 4. 五箇条の御誓文
- 問10 18世紀後半、米沢藩の上杉鷹山や熊本藩の細川重賢らが領内の改革を進めていた時期に、江戸幕府の老中として政治の実権を握った田沼意次が行った、幕府の財政を立て直すための政策として正しいものはどれですか。 (2021年 熊本県公立入試 類似)
1. 長崎貿易を制限し、金や銀の海外流出を防ぐためにヨーロッパからの書物の輸入を全面的に禁止した。
 2. 国内の産業を保護するため、清やオランダとの貿易を一切停止し、鎖国体制をさらに強化した。
 3. 長崎貿易において、銅や「倭物」と呼ばれた海産物の輸出を奨励し、金や銀の流入を図った。
 4. 独占による物価の上昇を抑えるため、特権商人たちが結成していた株仲間をすべて解散させた。
- 問11 江戸時代中期の18世紀後半、天明の飢饉などによる社会の混乱を立て直すために松平定信が行った「寛政の改革」の内容として、正しいものはどれですか。 (2020年 山形県公立入試 類似)
1. 北条泰時にならって裁判基準を簡略化し、江戸の町人に倨約を強いる代わりに重い税を課した。
 2. 後醍醐天皇の政治を理想とし、公家と武士が共同で政治を行う独自の法制度を全国に広めた。
 3. 株仲間を積極的に奨励することで商業を活性化させ、その運上金によって幕府の財政再建を図った。
 4. 武士の借金を帳消しにする棄捐令を出し、農村の復興のために都市の農民を帰らせる旧里帰農令を定めた。
- 問12 江戸幕府が参勤交代を義務づけた政治的・経済的なねらいについて、大名の統制という観点から説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2026年 新潟県公立入試 類似)
1. 地方の優れた文化を江戸に集約させ、幕府がすべての学問や芸術を一括して管理・統制する仕組みを整えるため。
 2. 江戸の町を活性化させるために、全国の大名に最新の特産品を一年ごとに江戸へ持ち込ませる経済特区を作るため。
 3. 大名の妻子を江戸に人質として住まわせることで、大名が他国と貿易を行い独自に利益を上げることを奨励するため。
 4. 大名に多額の旅費や江戸での滞在費を負担させることで、軍事力に転用できる経済力を削ぎ、反乱を未然に防ぐため。
- 問13 1660年代ごろの日本における大名配置の状況を確認すると、九州や東北、四国といった地域には、関ヶ原の戦い以降に徳川氏に従った大名が多く配置されています。幕府がこうした配置をとった理由として最も適切な説明はどれですか。 (2020年 静岡県公立入試 類似)
1. 外国船の来航に備えるため、戦闘経験が豊富な大名をあえて海岸線の多い辺境の地に配置した。
 2. 江戸から離れた豊かな土地を優先的に与えることで、新しく臣下となった大名たちの不満を抑えようとした。
 3. 有力な大名を江戸から遠い地域に置くことで、幕府への反乱や江戸への攻撃を防ぐための警戒策とした。
 4. 将軍の親戚にあたる大名が江戸周辺を独占すると権力が集中しすぎるため、有力な大名を全国に分散させた。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 長崎貿易での金や銀の流出を防ぐため、海舶互市新例を出して貿易額を制限した。	正徳の治では、国内の金・銀の産出量が減少していたことを重く受け止め、長崎貿易における貴金属の流出を抑えるための「海舶互市新例（正徳新例）」が制定されました。これにより、貿易船の数や貿易額に上限が設けられました。なお、生類憐みの令は徳川綱吉、印旛沼の干拓は田沼意次や水野忠邦、昌平坂学問所の強化は松平定信による政策であり、新井白石の政策とは異なります。
問2	答え 1 村請（村請制）	江戸幕府は太閤検地の方針を引き継ぎ、村ごとの石高（生産量）を確定させた上で、村役人（名主・長百姓など）に納税の連帯責任を負わせました。これにより、領主は個々の農民を管理する手間を省き、安定した年貢収入を確保することが可能となりました。
問3	答え 4 蔵屋敷	江戸時代の大阪は、水上交通の利便性を活かして全国から物資が集まる経済の中心地となりました。各藩は自領で徴収した年貢米や、地域の特産品（専売品）を大阪へ運び、現金化して藩の財政を支えるために、保管と販売の拠点となる蔵屋敷を川沿いに設置しました。これが大阪が「天下の台所」と呼ばれる大きな理由となりました。
問4	答え 4 オランダはプロテスタントの国であり、キリスト教の布教よりも貿易の利益を優先する姿勢を幕府に示したから	布教と貿易を一体化させていたカトリック国のスペインやポルトガルに対し、プロテスタント国であったオランダは、日本での布教を行わないことを条件に貿易の独占権を狙いました。幕府にとっては、キリスト教の拡大を抑えつつ、西洋の文物や「オランダ風説書」を通じて海外情報を入手し続けるために、オランダとの関係を維持することが合理的であったといえます。
問5	答え 3 島原・天草一揆	1637年に発生したこの一揆は、キリスト教を信仰する農民らが団結して幕府軍に抵抗した事件です。これに衝撃を受けた江戸幕府は、ポルトガル人の来航禁止や鎖国の完成、絵踏の徹底など、禁教政策を一層強化する契機となりました。
問6	答え 2 浮世絵	江戸時代初期に菱川師宣によって確立された浮世絵は、それまでの貴族や武士のための芸術とは異なり、新興の町人文化の台頭を背景に生まれました。当時の世相や風俗、美人、役者などを題材としており、庶民の娯楽としての側面を強く持っています。
問7	答え 3 幕府が全国を統轄し、各地の藩がそれぞれの領地と民衆を支配する幕藩体制が確立した。	近世（特に江戸時代）の政治の特徴は、中央の幕府と地方の藩による分権的な支配体制にあります。これを「幕藩体制」と呼び、江戸幕府は約260年間にわたって安定した支配を維持しました。他の選択肢はそれぞれ古代、中世、近代の説明です。
問8	答え 1 全国の沿岸を実際に歩き、歩数や測量器具を用いて距離と方位を測定する実地調査を徹底したから	伊能忠敬は天体観測によって各地の緯度を正確に把握するとともに、実際に歩いて距離を測る「歩測」や、方位磁石・鎖（間縄）などの道具を用いた地道な測量を積み重ねました。この実地調査に基づいた科学的な手法が、それまでの想像や伝承に頼っていた地図とは一線を画す精度をもたらしました。
問9	答え 2 武家諸法度	徳川家康の時代に初めて制定され、その後の将軍たちによっても引き継がれた大名向けの基本法です。戦乱の世を終わらせ、武士を軍事組織から幕府の支配体制に組み込まれた官僚的な存在へと変容させる役割を果たしました。
問10	答え 3 長崎貿易において、銅や「俵物」と呼ばれた海産物の輸出を奨励し、金や銀の流入を図った。	田沼意次は、農業中心の年貢収入に頼るだけでなく、商業の力を利用して幕府の財政を潤そうとする「重商主義」的な政策をとりました。その一環として、長崎貿易では銅のほか、乾燥させたアワビやフカヒレなどの「俵物」を積極的に輸出することで、対価として金や銀を得ようとしていました。また、蘭学を奨励して実学を重んじたため、ヨーロッパの書物の輸入制限を緩和したことも特徴です。株仲間の解散は後の松平定信や水野忠邦の改革で行われたことであるため、混同に注意が必要です。
問11	答え 4 武士の借金を帳消しにする棄捐令を出し、農村の復興のために都市の農民を帰らせる旧里帰農令を定めた。	松平定信は、田沼意次の後の政治を担い、困窮した旗本・御家人を救済するために借金を帳消しにする棄捐令を出しました。また、飢饉などで荒廃した農村を立て直すため、江戸に流入した農民に資金を与えて村に帰す旧里帰農令を出すなど、保守的な緊縮財政政策をとりました。株仲間の奨励は田沼意次の政策であり、松平定信はむしろこれらを抑制する傾向にありました。
問12	答え 4 大名に多額の旅費や江戸での滞在費を負担させることで、軍事力に転用できる経済力を削ぎ、反乱を未然に防ぐため。	参勤交代には膨大な費用が必要であり、大名たちの領国経営に大きな負担を強いるものでした。この経済的な消耗に加え、妻子を江戸に住まわせる「人質」の仕組みにより、幕府は大名が反抗しにくい状況を作り上げ、長期間の安定政権を維持しました。
問13	答え 3 有力な大名を江戸から遠い地域に置くことで、幕府への反乱や江戸への攻撃を防ぐための警戒策とした。	江戸幕府は、関ヶ原の戦い以降に臣下となった外様大名を完全には信頼しておらず、常に警戒していました。そのため、江戸の周辺や京都周辺、東海道などの交通の要所には親藩や譜代大名を配置して守りを固め、外様大名には江戸から遠い地方の領地を与えて、容易に幕府を脅かすことができないようにしました。